

2019年5月期 第2四半期決算説明会

(証券コード：7713)



2019年1月18日(金曜日)

目次

1. 2019年5月期 第2四半期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員管理本部長

菊池 健夫

3. 2019年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 生産体制の今後の展開

取締役生産本部長

中村 良二

5. 質疑応答

研究機関向けはやや軟調。産業分野の設備投資関連は堅調もペースはやや鈍化。
エレクトロニクス分野を中心に光学要素部品は堅調も光学システム製品が横ばい。

	17/5期2Q	18/5期2Q	19/5期2Q			
【百万円未満 切り捨て】	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	累計実績 (前年同期比)	構成比	期初予想差額 (予想比)	サマリー
売上高	3,767 (+ 4.3 %)	4,337 (+15.1 %)	4,608 (+6.2%)	100.0 %	28 (+0.6 %)	・教育機関、公的機関向け研究開発分野はやや軟調に推移 ・産業分野は設備投資、研究開発投資の回復傾向が継続し堅調に推移 ・現地通貨ベースで、欧州、アジアは堅調も米国は低調に推移
営業利益	443 (+ 29.9 %)	695 (+57.0 %)	710 (+2.0 %)	15.4 %	▲74 (▲9.6 %)	・売上原価は材料費・外注加工費等が増加 ・販管費は販売促進費やグループ子会社の増員により人件費が増加
経常利益	496 (+ 23.5 %)	760 (+53.1 %)	797 (+4.8%)	17.3 %	▲27 (▲3.4 %)	・為替差益等により営業外収支にプラス効果
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	327 (+ 20.3 %)	511 (+56.2 %)	531 (+3.8%)	11.5 %	1 (+0.3 %)	
1株当たり 四半期純利益	43円50銭	68円80銭	75円06銭	—	—	
平均為替レート						
1USドル	106.43円	111.42円	110.07円	—	—	
1人民元	16.11円	16.47円	16.68円	—	—	
1ユーロ	119.12円	126.63円	129.88円	—	—	

売上高

【百万円未満切り捨て】

売上高

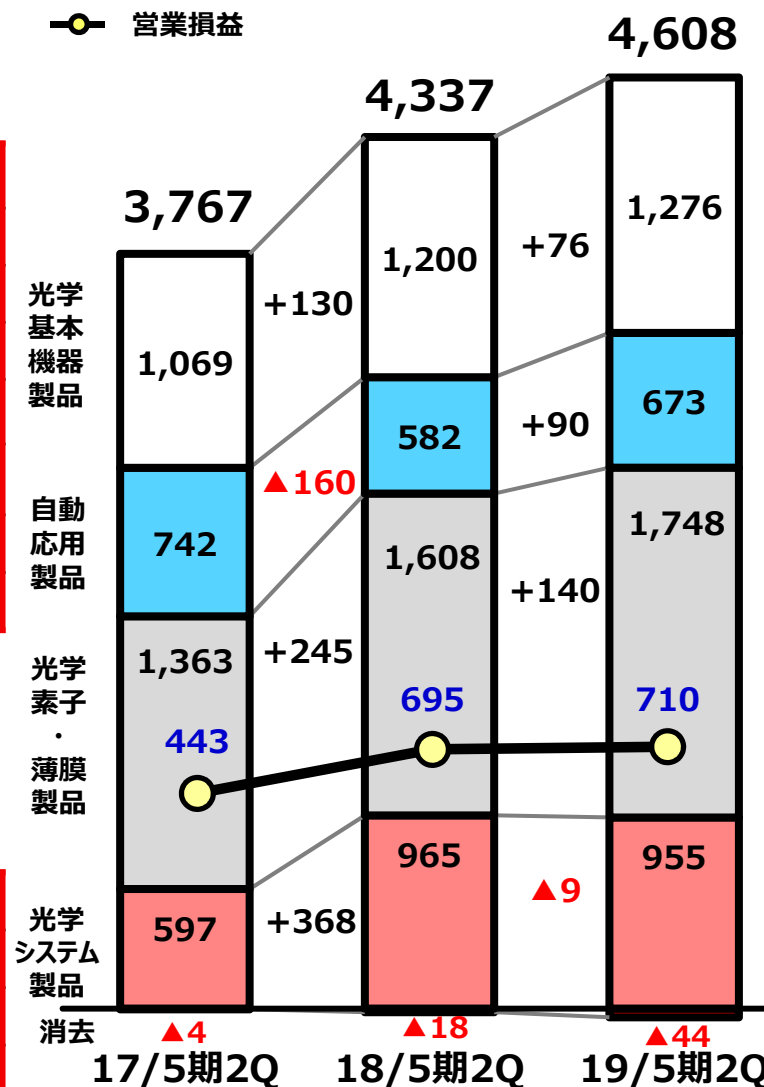
【百万円未満切り捨て】

製品区分	17/5期 2Q 累計実績	18/5期 2Q 累計実績	19/5期 2Q 累計実績	構成比	前年同期比
要素部品事業	3,175	3,391	3,697	80.2 %	9.0 %
光学基本機器製品	1,069	1,200	1,276	27.7 %	6.3 %
自動応用製品	742	582	673	14.6 %	15.5 %
光学素子・薄膜製品	1,363	1,608	1,748	37.9 %	8.7 %
システム製品事業	597	965	955	20.7 %	▲1.0 %
光学システム製品	597	965	955	20.7 %	▲1.0 %
消去	▲4	▲18	▲44	▲1.0 %	-
合 計	3,767	4,337	4,608	100.0 %	6.2 %

営業損益

【百万円未満切り捨て】

事業区分	17/5期 2Q 累計実績	18/5期 2Q 累計実績	19/5期 2Q 累計実績	前年同期比
要素部品事業	668	760	827	8.8 %
システム製品事業	▲13	189	150	▲20.4 %
消去	▲211	▲253	▲268	-
合 計	443	695	710	2.0 %

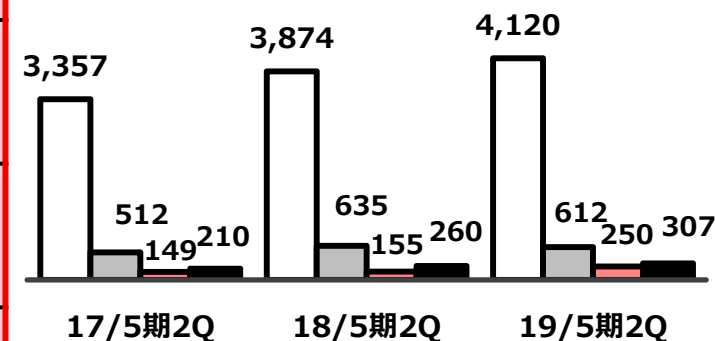


【百万円未満 切り捨て】	17/5期2Q累計		18/5期2Q累計		19/5期2Q累計	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
日本	3,357	544	3,874	789	4,120	798
アメリカ	512	63	635	115	612	60
フランス	149	14	155	▲6	250	10
中国	210	27	260	44	307	64
消去 又は全社	▲462	▲206	▲588	▲247	▲682	▲223
合 計	3,767	443	4,337	695	4,608	710
平均為替レート 1USドル 1人民元 1ユーロ	106.43円 16.11円 119.12円		111.42円 16.47円 126.63円		110.07円 16.68円 129.88円	

売上高

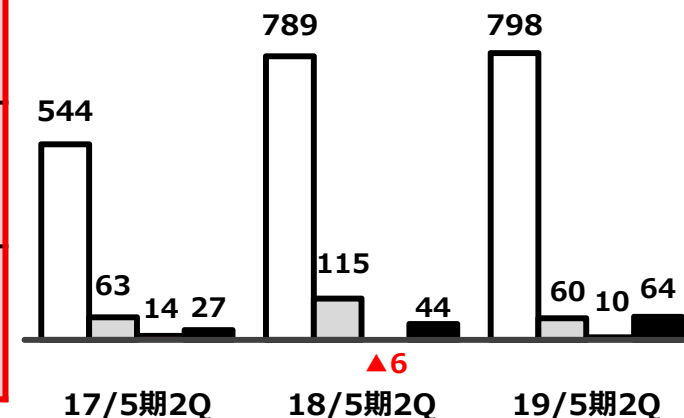
※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】

日本 アメリカ
フランス 中国



営業損益

※消去額を除く
【百万円未満切り捨て】



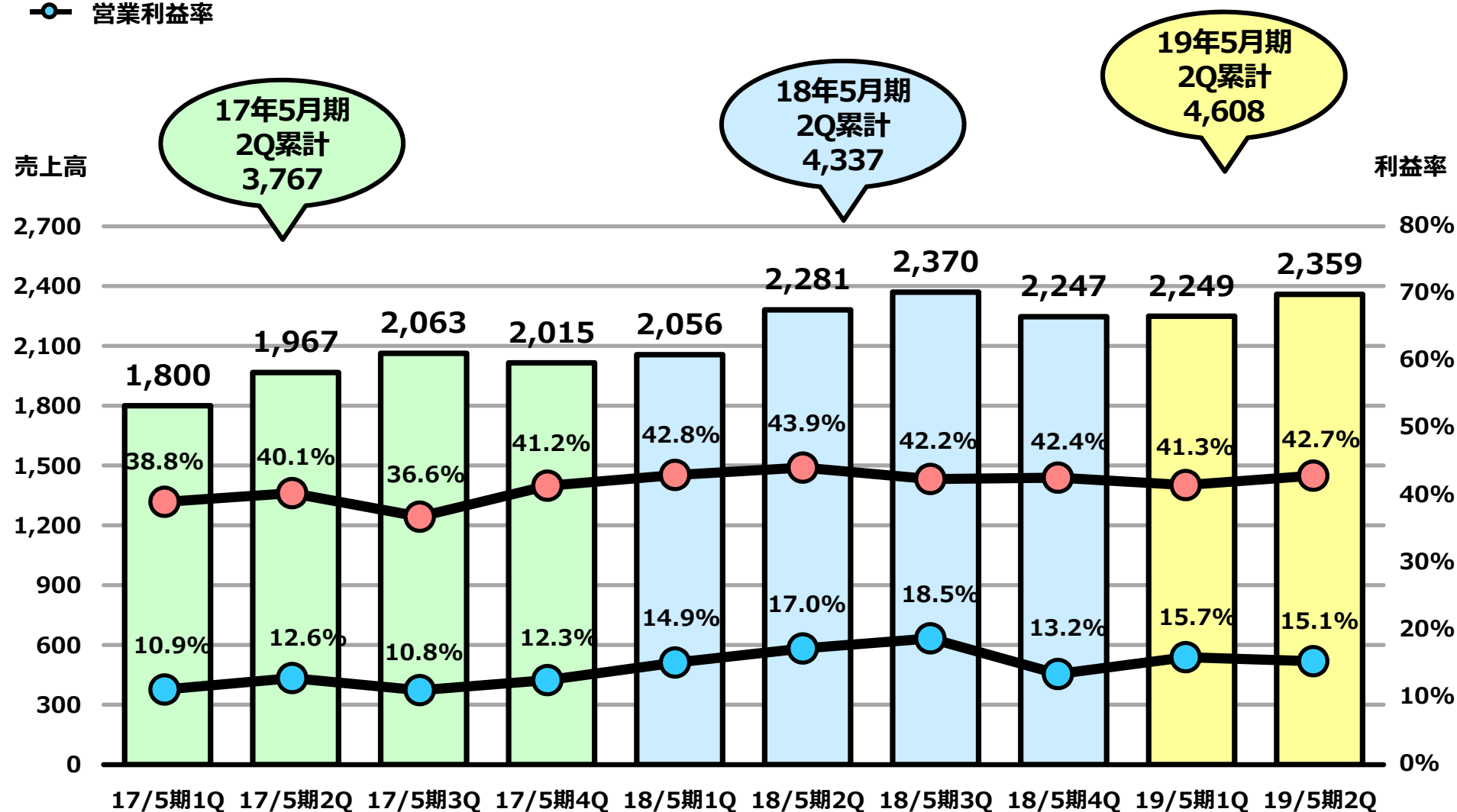
アジア、欧州は堅調も、先行きの不確実性が高まり北米は低調に推移。

先行きの不確実性の高まり等で北米地域は大口顧客の生産・在庫調整等により低調。
 アジア地域は、中国・韓国、東南アジアの産業分野及び学術系研究開発分野は堅調。
 欧州地域は、学術系研究開発分野での高難度案件の取り込みによる市場深耕強化。

	17/5期2Q	18/5期2Q	19/5期2Q			サマリー
【百万円未満 切り捨て】	累計実績 (構成比)	累計実績 (構成比)	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	3,767 (100.0 %)	4,337 (100.0 %)	4,608	100.0 %	6.2%	
海外売上高	1,029 (27.3 %)	1,270 (29.3 %)	1,406	30.5 %	10.7%	・現地通貨ベースで、欧州、アジアは堅調も 米国は低調に推移 ・連結の為替換算では、人民元は想定内も ドル・ユーロはプラス影響
アメリカ	446 (11.8 %)	542 (12.5 %)	501	10.9 %	▲7.6%	・バイオ、メディカル、半導体、計測分野の 大口顧客の生産調整・在庫調整等により 組込み用要素部品が低調に推移
アジア・ オセアニア	422 (11.2 %)	556 (12.8 %)	642	14.0 %	15.6%	・エレクトロニクス市場向けレーザ加工機、 検査装置への組込用レンズユニット等の 光学部品、モジュール、ユニットが堅調に推移
ヨーロッパ	138 (3.7 %)	145 (3.3 %)	239	5.2 %	65.2%	・学術系研究開発分野の高難度案件の取り 込みの強化と産業分野の案件の拡大 ・ウェブによるECマース展開を強化
その他	22 (0.6 %)	26 (0.6 %)	22	0.5 %	▲13.3%	

【百万円未満切り捨て】

- 売上高
- 売上総利益率
- 営業利益率



製品ポートフォリオの変化により売上原価率は前年同期比1.4pt悪化。

製品ポートフォリオの変化と特注リピート・OEM案件等により材料費・外注加工費等が増加。
減価償却費は執行時期が上期後半に集中し抑制効果。その他、在庫評価損を追加計上。

【百万円未満 切り捨て】	17/5期2Q		18/5期2Q		19/5期2Q			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	3,767	100.0 %	4,337	100.0 %	4,608	100.0 %	6.2 %	
材料費等	1,344	35.7 %	1,477	34.1 %	1,642	35.6 %	11.2 %	・売上高の製品構成の変化による増加 ・リピート・OEM案件の外部調達が増加 ・ラインナップ増加に伴う在庫評価損の増加
労務費	703	18.7 %	772	17.8 %	795	17.3 %	3.0 %	・需要増加により残業時間が増加傾向
減価償却費	114	3.0 %	113	2.6 %	108	2.4 %	▲4.5 %	・執行時期の上期後半への集中により抑制
その他	119	3.2 %	92	2.1 %	124	2.7 %	33.6 %	
売上原価	2,281	60.6 %	2,457	56.6 %	2,671	58.0 %	8.7 %	
売上総利益	1,485	39.4 %	1,880	43.4 %	1,937	42.0 %	3.0 %	

全社的な経費削減活動により販管費率は前年同期比で0.7pt改善。

高難度案件の増加に伴う技術人員と連携した営業展開により販売促進費は増加。
今後のグローバル営業展開の強化に向けたグループ子会社増員により人件費が増加。

【百万円未満 切り捨て】	17/5期2Q		18/5期2Q		19/5期2Q			サマリー
	累計実績	構成比	累計実績	構成比	累計実績	構成比	前年同期比	
売上高	3,767	100.0 %	4,337	100.0 %	4,608	100.0 %	6.2 %	
販売促進費	155	4.1 %	191	4.4 %	210	4.6 %	9.6 %	・技術部門の見積作業費の増加 ・企業訪問等の営業活動の強化
広告宣伝費	36	1.0 %	42	1.0 %	34	0.7 %	▲18.4 %	・カタログ配布の一巡による減少 ・海外展示会の出展費用の減少
人件費	444	11.8 %	481	11.1 %	503	10.9 %	4.6 %	・米国、欧州のグループ子会社の増員
減価償却費	24	0.6 %	21	0.5 %	24	0.5 %	10.5 %	
試験研究費	133	3.6 %	157	3.6 %	159	3.5 %	1.0 %	・研究開発案件の絞り込みの実施
その他	248	6.6 %	289	6.7 %	294	6.4 %	2.0 %	
販売管理費	1,042	27.7 %	1,184	27.3 %	1,227	26.6 %	3.6 %	
営業利益	443	11.8 %	695	16.0 %	710	15.4 %	2.0 %	

	18/5期	18/5期	19/5期		
【百万円未満切り捨て】	2Q	期末	2Q	前期末比	サマリー
現金・預金	2,721	2,891	2,542	▲12.1 %	・金銭信託の運用による減少
受取手形・売掛金	1,948	1,896	2,051	8.1 %	・売上高の増加による売掛債権の増加
電子記録債権	511	808	709	▲12.4 %	
棚卸資産	2,219	2,254	2,465	9.4 %	
その他流動資産	1,045	1,248	1,692	35.6 %	・金銭信託の運用による増加
有形・無形固定資産	2,896	2,898	2,924	0.9 %	
投資等	3,362	3,340	3,335	▲0.1 %	
資産合計	14,706	15,339	15,721	2.5 %	
支払手形・買掛金	924	1,091	607	▲44.4 %	・外部調達の増加による増加
電子記録債務	-	-	534	-	・当期から電子記録債務による支払を導入
短期借入金	205	199	208	4.9 %	
その他流動負債	674	816	705	▲13.6 %	・未払金（固定資産購入代金等）の減少
長期借入金	257	255	188	▲26.2 %	・借換のタイミングによる減少
その他固定負債	738	749	777	3.8 %	
純資産合計	11,905	12,228	12,699	3.8 %	・利益剰余金の増加
負債・純資産合計	14,706	15,339	15,721	2.5 %	

【百万円未満切り捨て】	18/5期 2Q累計	18/5期 通期累計	19/5期 2Q累計	サマリー (当期中の増減額の要因)
営業活動	297	986	430	・税引前利益による増加 ・減価償却費による増加 ・棚卸資産の増加による減少 ・仕入債務の増額による増加 ・売上債権の増額による減少
投資活動	406	63	▲638	・金銭信託(有価証券)の取得による減少 ・有形/無形固定資産の取得による減少
フリーキャッシュフロー	704	1,049	▲207	
財務活動	▲813	▲941	▲178	・長期借入金の返済による減少 ・配当金の支払による減少 ※前期は2Qの自己株式の取得による支出により現金残高が大幅に減少
現金及び 現金同等物の期末残高	2,723	2,859	2,549	

目次

1. 2019年5月期 第2四半期 決算概要

管理本部経理部長

石井 康之

2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し

執行役員管理本部長

菊池 健夫

3. 2019年5月期 営業戦略

営業本部長

森 政之

4. 生産体制の今後の展開

取締役生産本部長

中村 良二

5. 質疑応答

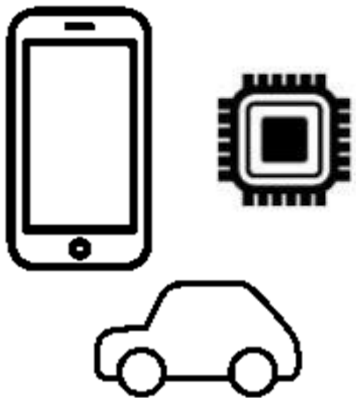
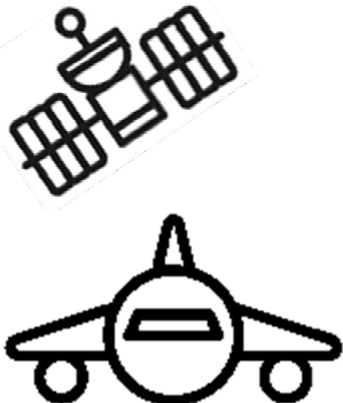
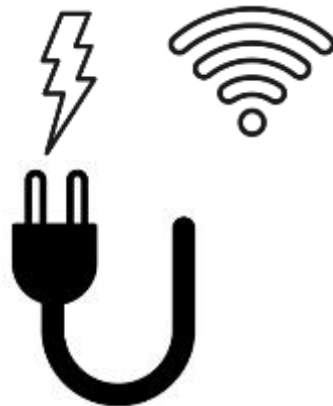
◆スローガン（2015年から継続）

**「アジアNo. 1」から
「世界No. 1」へ**

◆事業戦略 基本方針

- お客様満足度の最大化
- Q・C・D+R+Sを世界レベルへ
- 技術伝承・融合・総合力

光の時代が来ています。

			
エレクトロニクス	ライフサイエンス	航空・宇宙	その他
- 精密微細加工 - 複雑形状加工 - 難削材加工 - 精密検査技術	- 微小分子観察 - 超高解像画像 - 生体レーザー治療	- 精密測定 - 精密計測 - 耐環境性能	- 超高速通信 - 新エネルギー - 先端研究分野 - etc

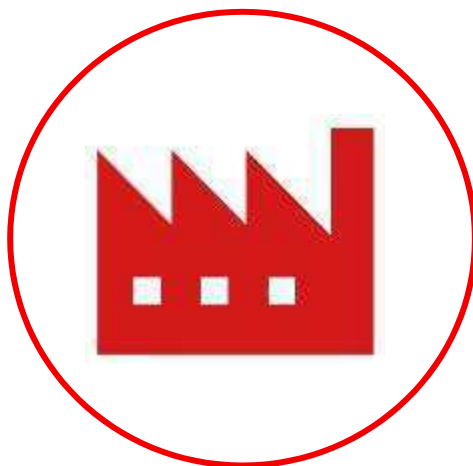
持続的に成長する基盤づくり

マーケット



- ソリューション提案強化
- 海外展開の基盤強化
- Eコマース&在庫管理

ものづくり



- 製品ラインナップの拡充
- 設備増強&先端生産技術
- 技術融合&多能工化

コミュニケーション



- 社内管理体制の強化
- 協力パートナーと連携
- グローバル人材の育成

産業分野の設備投資・研究開発投資は堅調であり需要は底堅いが、先行きの不確実性の高まりで売上高の成長ペースは一時的に鈍化と想定。

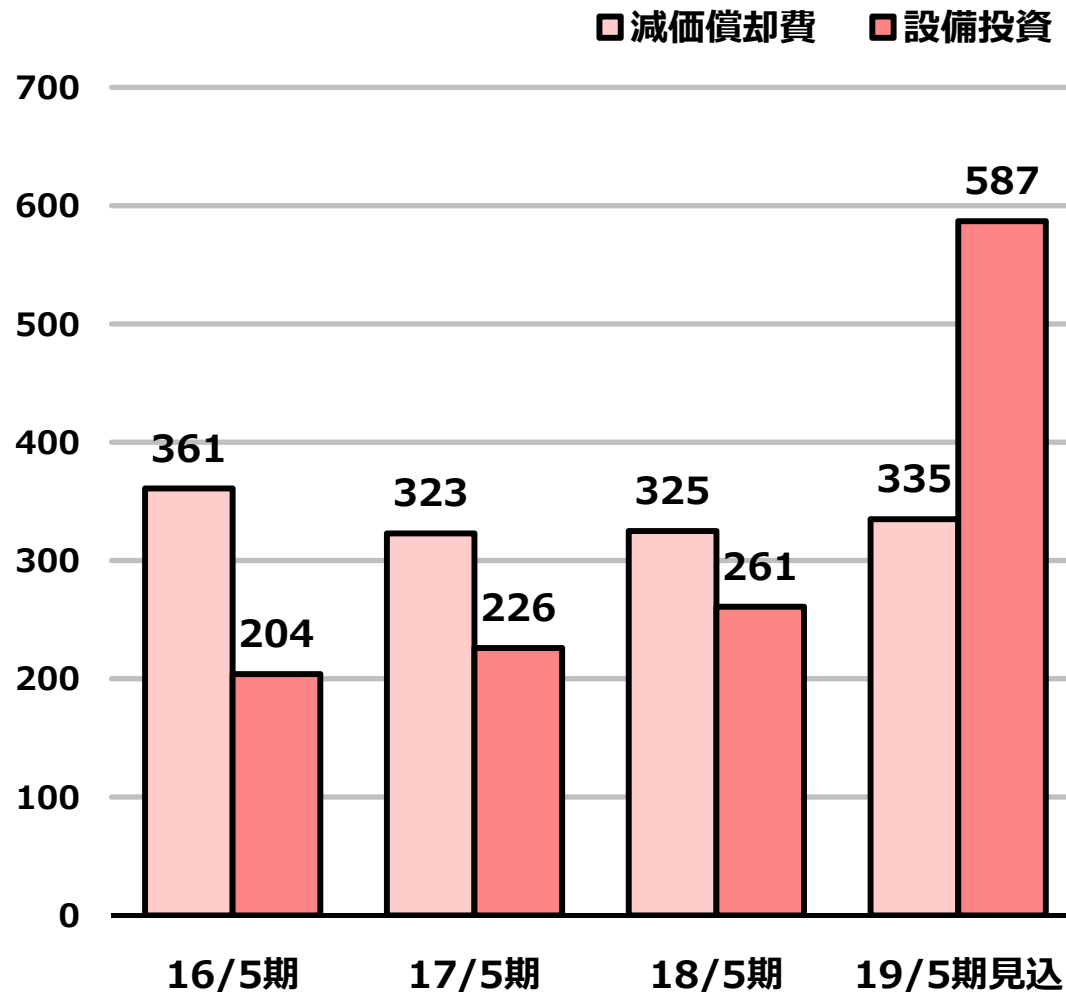
ターゲットとする産業分野の設備投資は依然堅調。需要は底堅く推移すると見込む。下期売上高は期初予想の範囲内も、利益面は販売製品のポートフォリオ改善で伸長。

【百万円未満 切り捨て】	17/5期		18/5期		19/5期				通期増減 (前年同期比)	
	通期実績	構成比	通期実績	構成比	上期実績	下期予算	通期予算	構成比	差額	増減率
売上高	7,846	100.0 %	8,956	100.0 %	4,608	4,751	9,360	100.0 %	403	4.5 %
営業利益	912	11.6 %	1,433	16.0 %	710	909	1,620	17.3 %	186	13.0 %
経常利益	1,036	13.2 %	1,518	17.0 %	797	897	1,695	18.1 %	176	11.6 %
親会社株主に 帰属する 当期純利益	746	9.5 %	1,005	11.2 %	531	573	1,105	11.8 %	99	9.9 %
1株当り 当期純利益	99円11銭	—	138円49銭	—	75円06銭	—	156円02銭	—	—	—

当期通期見込みの算定は、為替レート(期中平均)として1USドル=105.00円、1ユーロ=125.00円、1人民元=16.50円で計算しております。

設備投資・減価償却費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

◎ 主要設備投資

○ 16/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.4億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・研究開発設備投資 0.2億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.5億円

○ 17/5期

- ・光学素子設備増強投資 0.9億円
- ・検査測定機器投資 0.2億円
- ・基本機器設備増強投資 0.2億円
- ・情報システム投資 0.3億円

○ 18/5期

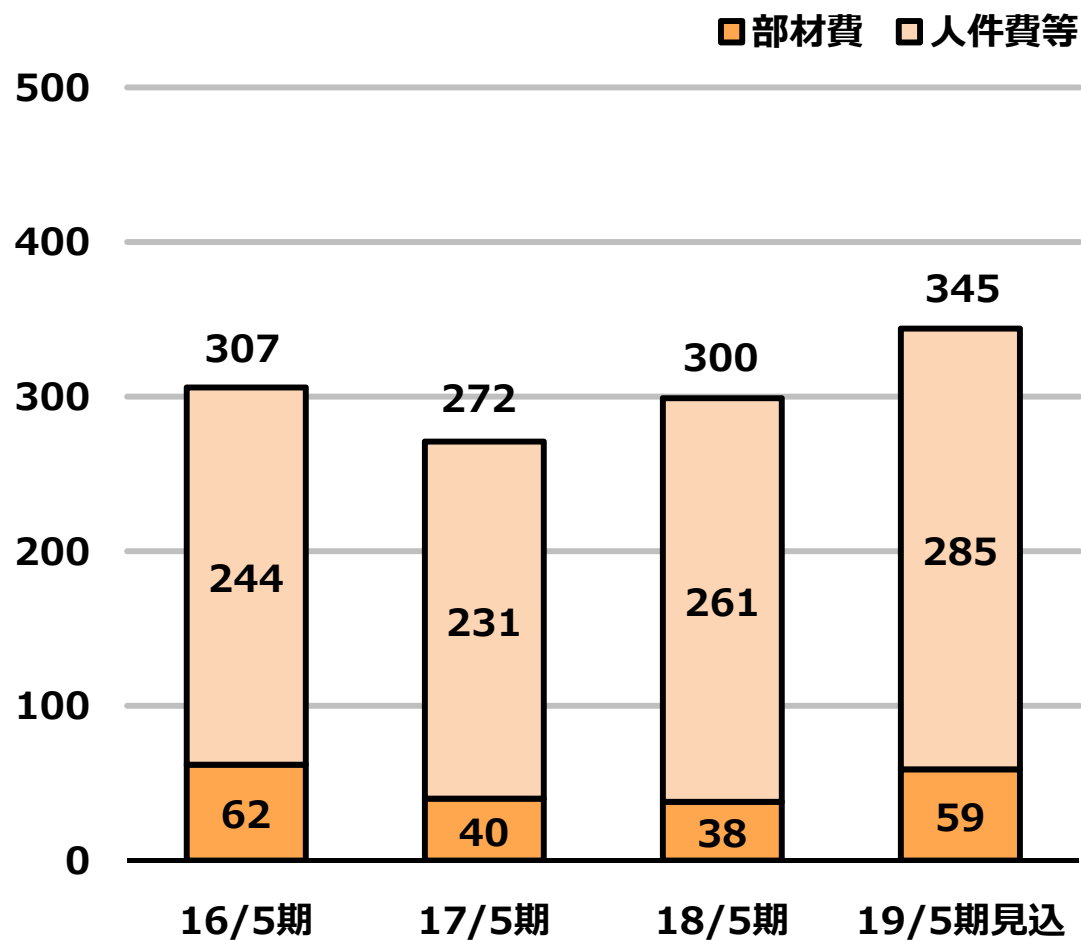
- ・光学素子設備増強投資 0.8億円
- ・研究開発設備投資 0.3億円
- ・情報システム投資 0.4億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.2億円

○ 19/5期見込

- ・光学素子設備増強投資 2.7億円
- ・情報システム投資 0.6億円
- ・能登工場設備増強投資 0.5億円
- ・日高工場拡張投資 0.4億円
- ・上海シグマ光機設備投資 0.4億円

研究開発費

【百万円未満切り捨て】



補足説明

【百万円未満切り捨て】

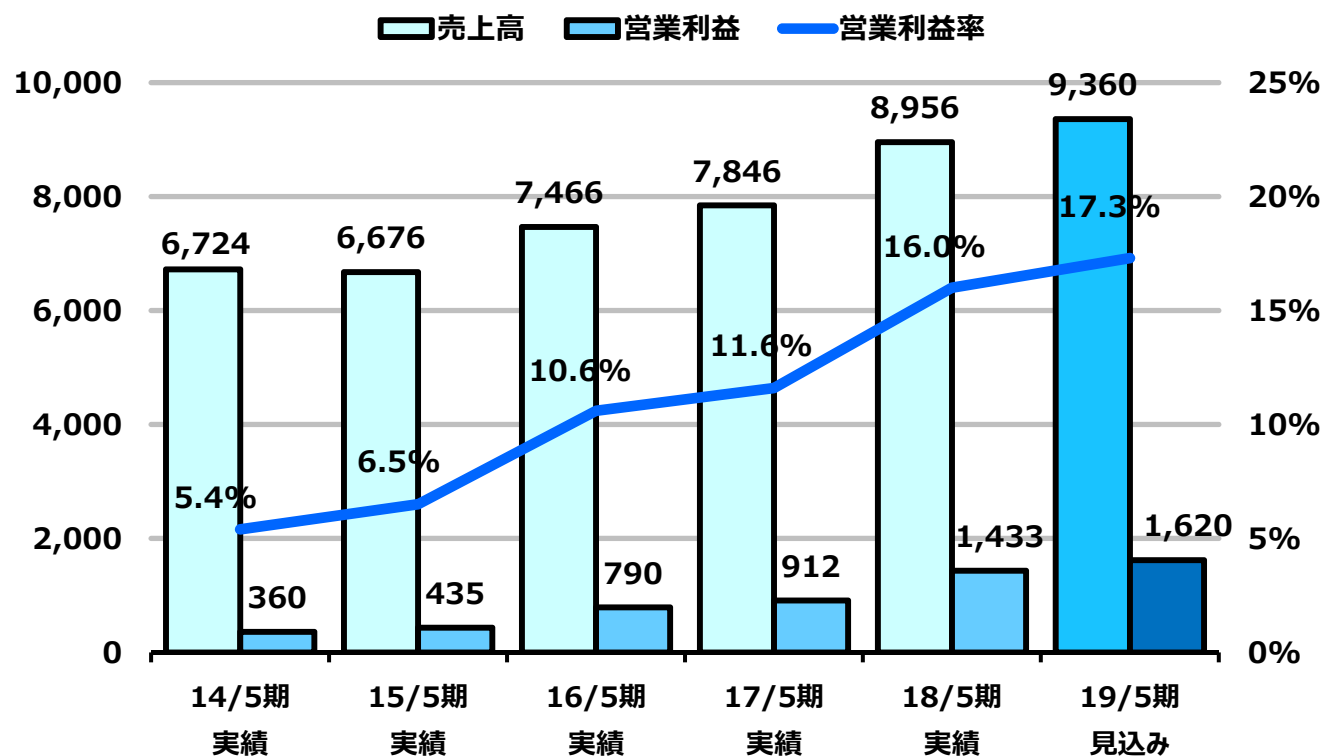
○部材費

	自社	産学官連携
16/5期	59	3
17/5期	39	1
18/5期	38	0
19/5期見込	59	0

○人件費等

	人件費等	研究開発費 (人件費等込) 売上高比率
16/5期	244	4.1%
17/5期	231	3.5%
18/5期	261	3.4%
19/5期見込	285	3.7%

【百万円未満切り捨て】



2019年5月期通期サマリー

① 売上高

- 産業分野の投資意欲は堅調
- 海外市場は貿易戦争の影響懸念

② 売上原価

- 売上高増加に伴う材料費等の増加
- 売上高ポर्टフォリオ改善による利益増加
- 設備投資による減価償却費の増加

③ 販売管理費

- グローバル展開での販売促進費の増加
- 展示会・WEB等の広告宣伝費の増加

<販売展開の強化>

- 成長産業分野でのリピート取込み
- 高精度光学モジュールでの需要創出
- ウェブ（Eコマース）での受注強化

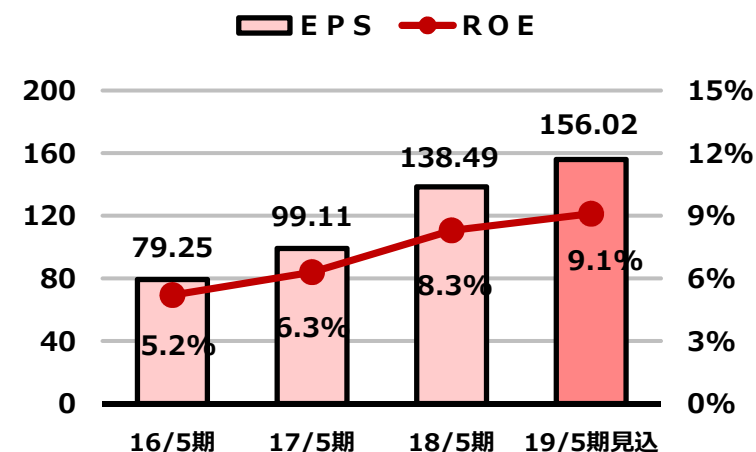
* 強固な財務体質を堅持（連結）

- | | | |
|----------|-------------------|-----------------------|
| ① 自己資本比率 | 18/5期 : 79.4% | → 19/5期2Q : 80.4% |
| ② 利益剰余金 | 18/5期 : 6,828百万円 | → 19/5期2Q : 7,239百万円 |
| ③ 純有利子負債 | 18/5期 : ▲2,437百万円 | → 19/5期2Q : ▲2,145百万円 |

連結EPS・ROE

	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期見込
親会社株主に帰属する 当期純利益（百万円）	596	746	1,005	1,105
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	79.25	99.11	138.49	156.02
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	5.2	6.3	8.3	9.1(※)

【単位：円】

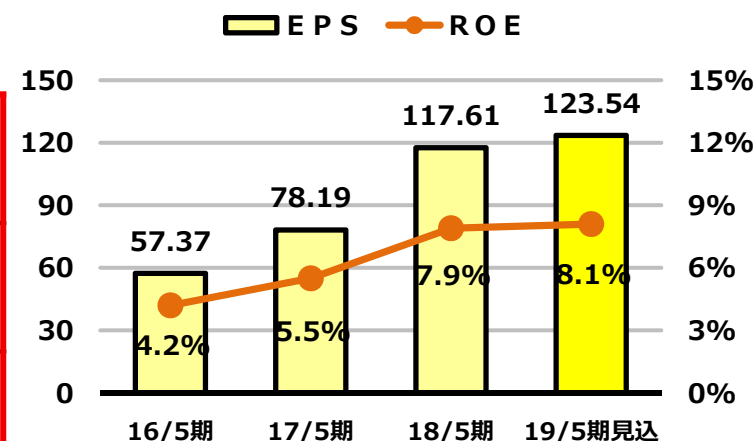


※2018年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

単体EPS・ROE

	16/5期 通期	17/5期 通期	18/5期 通期	19/5期 通期見込
当期純利益（百万円）	432	588	854	875
1株当たり 当期純利益（円）（EPS）	57.37	78.19	117.61	123.54
自己資本 当期純利益率（%）（ROE）	4.2	5.5	7.9	8.1(※)

【単位：円】

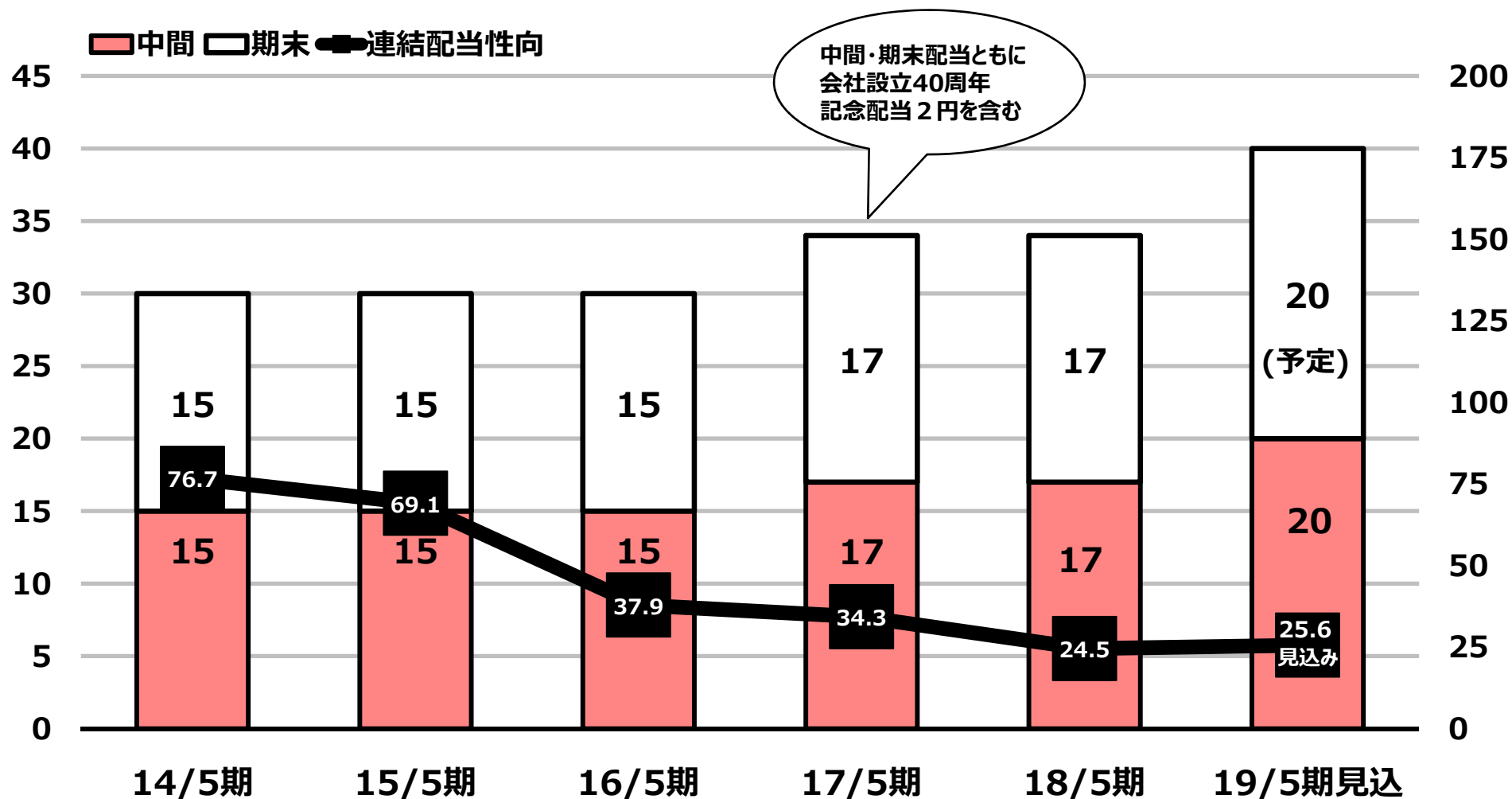


※2018年5月期末の自己資本額を元に試算しております。

継続的・安定的な配当を維持

【単位：円】

【単位：％】



目次

- | | |
|--|-------|
| 1. 2019年5月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 | 石井 康之 |
| 2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員管理本部長 | 菊池 健夫 |
| 3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 | 森 政之 |
| 4. 生産体制の今後の展開
取締役生産本部長 | 中村 良二 |
| 5. 質疑応答 | |

1 マーケットと主要製品

■ 官公庁・研究機関 : 『お客様の欲しいを形に』製品群・No.1 Products
・自動ステージ・コアユニット顕微鏡等

■ スマートフォン関連 : レーザ加工機・対物レンズ・加工鏡筒・自動ステージ等



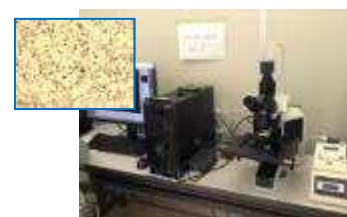
■ 車・センシング関連 : 生産設備用光学ユニット・光学モジュール

■ 防衛・航空宇宙関連 : 耐放射線レンズ・光学ユニット・光学素子等

■ 医療・バイオ関連 : 医療用レーザシステム・医療用光学システム等

■ 半導体関連 : 検査用装置・高精度光学ユニット・自動ステージ等

■ 通信関連 : ファイバー/導波路用自動調芯装置



■ 国家PJ関連 : 光学ユニット・スーパーミラー・超高真空高安定ホルダ等

① OEM・ODM案件創出

- ・お客様の要求に合った仕様・価格・短納期対応によるリピート製品創出
- ・PV展で実機説明と提案による新規OEM・ODM案件創出
- ・実機評価を積極的に提案、お客様との協業による案件創出
- ・メーカならではのトータルソリューション提案による案件創出

② チャレンジ案件(オンリーワン製品)獲得

- ・国家PJ等の高難易度案件実績評価により引き合い増加
- ・お客様との協業による世界No1製品の実現

③ 新規潜在顧客層開拓による受注ベース底上げ

- ・WEB機能の充実とお客様が必要な製品データの充実
- ・専門分野の展示会を通じコミュニケーションと製品説明による新規お客様を開拓

④ お客様満足度向上

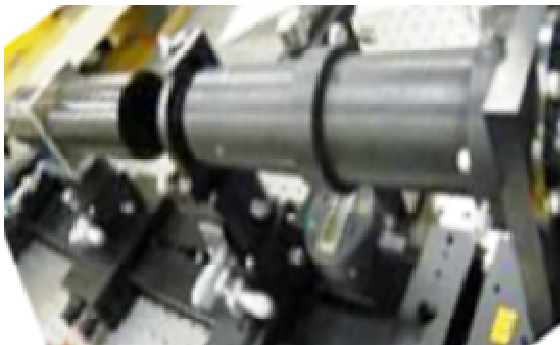
- ・お客様が製品を選定しやすいパンフレットの発刊、製品データの充実

- お客様の事業所・研究室でPV展を実施。
開発設計部門・購買部門へ特注対応力を説明、
OEM・ODM案件を創出



**カタログ製品実機を実際にご覧いただき、
リアルな環境でお客様が欲しい仕様を提案・具現化**

■ 国内・海外から当社技術力へ期待した 国家PJ入札含む高難易度案件を具現化



高精度光学ユニット

設計技術
製造技術
評価技術



高精度オプティカル・キャビティ

スーパーミラー
接合技術



NASA/CNES [「Mars2020計画」](#)

火星探査機搭載予定の
SuperCam検出器用光学素子

※各国から天文・航空宇宙向け
案件の引き合い増加

■ WEB機能とお客様が必要な製品データの充実

■ 専門分野の展示会での技術者から研究者へ製品説明、 新規お客様を開拓



製品の特長・目的をお客様へ直接分かりやすく説明、
製品ファン作り

第3弾

“Educationパンフレット”

Smart SKの発刊

第1弾 光学素子版が製品選定に役立ち、大好評

第2弾 OPTO-MECHANICAL版を発刊

第3弾 Microscope ミル

パーツからユニットへ

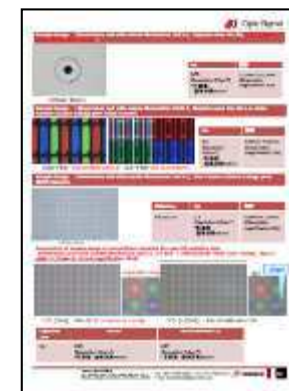
“観察”用途製品の選定ガイド

英語・中国語バージョンも展開



Microscope ミル

目的に合った製品選定が簡単に！！



製品構成例とお客様が目的とする例

■ アジア地域（中国・韓国・台湾・シンガポール）

- ・半導体関連生産装置向け高精度光学ユニット等、需要が増加
- ・スマートフォン関連生産装置向け特注光学ユニット等、新規引き合い増加
- ・中国・シンガポールより高難易度光学ユニット、アライメント用システムの需要増加

■ 北米地域

- ・国家PJ等の高難易度チャレンジ案件の新規引き合い増加
- ・バイオメディカル・バイオフォトンクス用光学ユニットの新規引き合い増加

■ EU圏

- ・国家PJ 等の大口・高難易度チャレンジ案件の実績増加と引き合い増加
- ・レーザ装置等への組込み用OEM製品の実績増加
- ・バイオフォトンクス用光学システムの実績増加

3 海外マーケット概況-2

■ シンガポール現地法人会社設立 (OptoSigma Southeast Asia Pte. Ltd.)

開設日 2019年1月予定

決算期 3月31日

シンガポールを中心に、東南アジア地域
のお客様対応力を強化



シンガポール共和国と東南アジア地域

バイオメディカル、レーザ & フォトニクス、半導体、精密工学、航空宇宙分野に
関連する大手企業の研究開発部門および製造拠点が集中。

最先端研究・開発案件から

OEM・ODM案件の案件創出を行います。

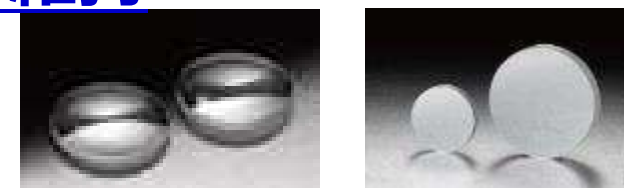
① 半導体設備用OEM製品受注が堅調・維持

高精度光学ユニット・光学素子・光学素子ホルダ・自動ステージ
新規引き合い増加



② レーザ加工機用組込製品の受注が堅調・維持

高難易度レーザ加工機用光学ユニット・
自動ステージ・光学素子等引き合い多数



③ 医療用レーザシステム・バイオフィotonics用ユニットの受注が堅調

④ スマートフォン設備投資に不透明感

次世代設備用光学ユニット・特注対物レンズ等
引き合い増加



⑤ 防衛/航空宇宙関連向け光学ユニット・光学素子のリピート受注

⑥ センシング関連向けOEMレーザユニットの受注開始

目次

- | | |
|--|-------|
| 1. 2019年5月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 | 石井 康之 |
| 2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員管理本部長 | 菊池 健夫 |
| 3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 | 森 政之 |
| 4. 生産体制の今後の展開
取締役生産本部長 | 中村 良二 |
| 5. 質疑応答 | |

Real manufacture (真のものづくり)

- ① 自社内 開発・設計～一貫生産
- ② 多種規格品ラインナップ
- ③ カスタマイズ対応
- ④ システム製品対応
- ⑤ 各技術力
設計・研磨・薄膜・機械・電気・ソフト



研磨・薄膜技術



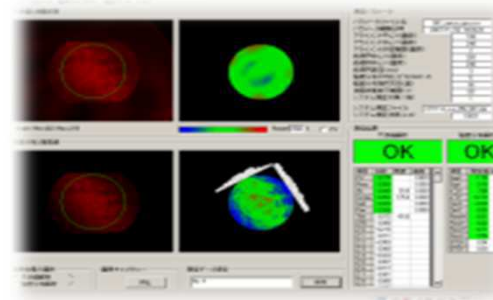
精密機械技術



システム化技術

技術力
の融合

電気制御ソフト技術



研究開発分野や産業分野のニーズに応える レーザ光学関連部品をワンストップで供給

開発、設計、製造～販売
一体の供給体制



光学素子・薄膜製品

マルチエレメントオプティクス、ミラー、ビームスプリッター、
フィルター、レンズ、プリズム、ポラライザー、レーザ結晶、
非線形結晶、基盤、e t c (約12,000種)

精密研磨技術
薄膜蒸着技術
製品評価技術



光学基本機器製品

ステージ、ホルダー、ベース、ロッド、ポストスタンド、
クランプ、ケージシステム、etc
(約2,000種)

素材組合技術
精密加工技術



自動応用製品

自動ステージ、アクチュエータ、コントローラ、
光計測・制御ユニット、光源、電源、各種ソフト、etc
(約200種)

制御技術
高精度技術
技術融合

要素部品 < モジュール < ユニット < システム

開発、設計、製造～販売
一体の供給体制

レーザ加工
Laser Processing

顕微鏡ユニット
Viewing

要素部品(HW・OP)
Component

モジュール
Module

ユニット製品
Units

光通信
Alignment, Optical Fiber

検査システム
Inspection

バイオフィotonics
Bio photonics

光学システム製品
System(Application)



本社・日高工場

生産人員：137名

生産品目：光学研磨・薄膜製品、
光学システム製品



能登工場

生産人員：71名

生産品目：基本機器製品



白山技術センター

生産人員：10名

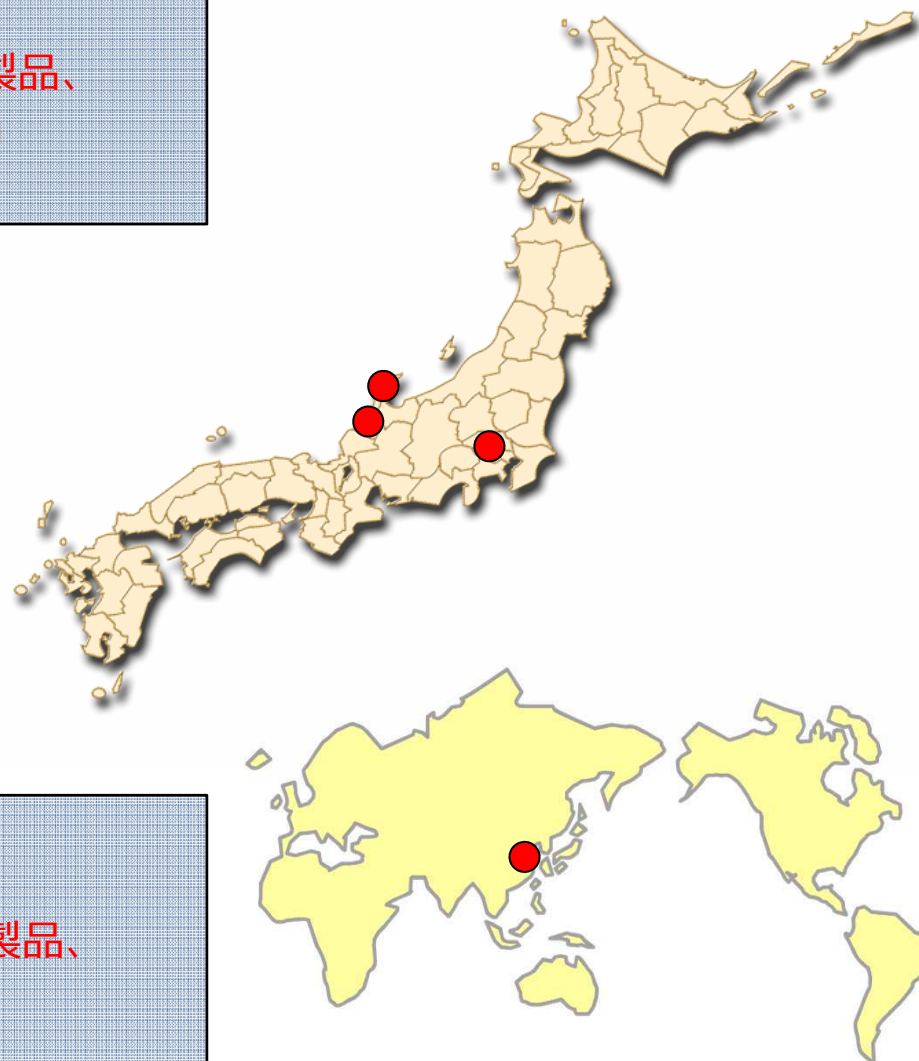
生産品目：自動応用製品



上海西格瑪光机有限公司

生産人員：91名

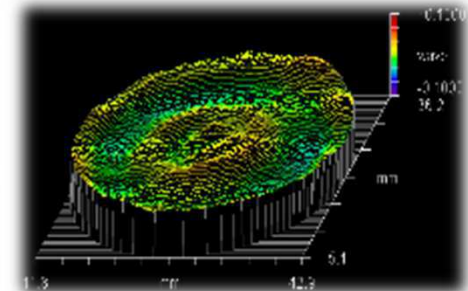
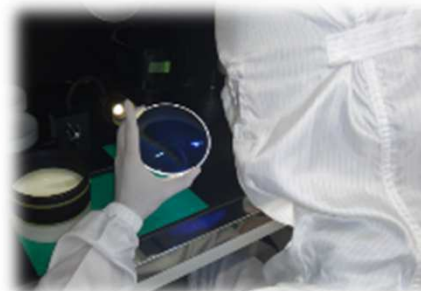
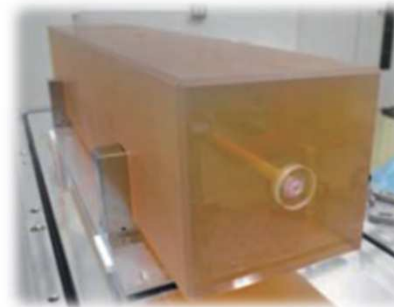
生産品目：光学研磨・薄膜製品、
基本機器製品



高精度化

- ①光学研磨及び薄膜 製造技術
- ②間接部門 品質・工程・物管理
- ③医療機器製造

(定款変更をH27年7月施行)



日高拠点 増築

- 建設総額：約10億円
- 建設面積：40m×50m 約2,000m² (606坪)
- 建設床面：2階建て 約3,000m² (909坪)
- 建設着工：2019年4月
- 建設完成：2020年3月
- 設備配置

光学研削・研磨機
大口径研削・研磨機
精密研磨機 等々



能登・白山・上海拠点

- ① 高付加価値製品製造
- ② 光学加工技術・機械加工技術融合
- ③ Q C D 生産力向上



能登工場



技術センター



上海西格瑪光机

我社は光産業を通じ、社会に貢献します。

- ① Q C D + R + S を世界レベルとし、
お客様満足度No.1を目指す**
- ② 設備・工程での多能工化及び
拠点を跨ぐ多能工化を推進する**
- ③ 原価部門としての自覚
「利益源泉本部」としての業績貢献**

目次

- | | |
|--|-------|
| 1. 2019年5月期 第2四半期 決算概要
管理本部経理部長 | 石井 康之 |
| 2. 2019年5月期 事業戦略 及び 通期見通し
執行役員管理本部長 | 菊池 健夫 |
| 3. 2019年5月期 営業戦略
営業本部長 | 森 政之 |
| 4. 生産体制の今後の展開
取締役生産本部長 | 中村 良二 |
| 5. 質疑応答 | |

ご清聴ありがとうございました。

本説明会にて提供させていただいた情報および本資料内に記載されている当社グループに関する業績予想、方針、経営戦略、目標等に関しては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。

よって、今後様々な要因により将来の見通しに関する記載事項や予想数値等が変化することが考えられます。すなわちこれら記載事項や予想数値等はその性質上、将来そのとおりに実現するという保証は致しかねますのでご留意ください。